製品ご相談窓口のご案内

【プロジェクターの技術相談窓口】

テクニカルインフォメーションセンター

電話番号： 0586-25-6170
（電話のおかけ間違いにご注意ください）
受付時間： 月～金曜日　午前9時～午後8時
土、日、祝日　午前9時～午後5時

製品の品質には万全を期しておりますが、万一本機のご使用中に、正常に動作しないなどの不具合が生じた場合は、上記の「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。
修理に関するご案内をさせていただきます。

http://www.sony.net/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。
はんだ付けに無鉛はんだを使用
キャビネットにハロゲン系難燃剤を不使用
包装用緩衝材に段ボールを使用
Printed on 70% or more recycled paper using VOC (Volatile Organic Compound)-free vegetable oil based ink.
Lead-free solder is used for soldering.
Halogenated flame retardants are not used in cabinets.
Corrugated cardboard is used for the packaging cushions.

Sony Corporation　Printed in Japan　　ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1

SONY

2-592-500-**04** (1)

Data Projector

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示してあります。**この説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

VPL-PX41

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

5 年に 1 度は、内部の点検を、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください(有料)。

故障したら使用を中止する

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたりキャビネットを破損したときは**

❶ 電源を切る。
❷ 電源コードや接続コードを抜く。
❸ お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに連絡する。

警告表示の意味

この説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

高温

破裂

手を挟まれないよう注意

行為を禁止する記号

接触禁止

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

アース線を接続せよ

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。
「JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性第 3-2 部：限定値高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。」

JP

お客様へ

⚠警告 CD-ROMに収録された設置説明書は、特約店様用に書かれたものです。

お客様が設置説明書に記載された設置工事を行うと、事故などにより死亡や大けがにつながることがあります。お客様自身では、絶対に設置工事をしないでください。
設置については必ずお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、火災や感電により、死亡や大けががにつながることがあります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに交換をご相談ください。

指定された電源コード、接続ケーブルを使う

取扱説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

レンズをのぞかない

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

排気口、吸気口をふさがない

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをする場合があります。
風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から30cm以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 布などで包まない。
- たてて使用しない。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プロジェクターの上に水が入ったものを置かない

内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

安全アースを接続する

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

床置き、または天井つり金具を使った天井つり以外の設置をしない

それ以外の設置をすると火災や大けがの原因となることがあります。

天井への取り付け、移動は絶対に自分でやらない

天井への取り付けは必ずお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください（有料）。天井の強度不足、取り付け方法が不充分のときは落下する危険があります。
必ずソニー製のプロジェクターサスペンションサポートをご使用ください。特約店の方は取り付けを安全に行うために、必ず本書、CD-ROM 内の特約店様用設置説明書およびプロジェクターサスペンションサポートの取付説明書の注意事項をお読みください。

熱感知器や煙感知器のそばに設置しない

熱感知器や煙感知器のそばに設置すると、排気の熱などにより、感知器が誤動作するなど、思わぬ事故の原因となることがあります。

アースキャップは幼児の手の届かないところへ保管する

お子様が誤って飲むと、窒息死する恐れがあります。
万一誤って飲み込まれた場合は、ただちに医者に相談してください。
特に小さなお子様にはご注意ください。

⚠注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

水のある場所に置かない

水が入ったり、濡れたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない。

火災や感電の原因となることがあります。

スプレー缶などの発火物や燃えやすいものを排気口やレンズの前に置かない。

火災の原因となることがあります。

投影中にレンズのすぐ前で光を遮らない

遮光した物に熱による変形などの影響を与えることがあります。

落雷のおそれがあるときは、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

アジャスター調整時に指を挟まない

アジャスターの調整は慎重に行ってください。そうしないと、アジャスターに指を挟み、けがの原因となることがあります。

排気口周辺には触れない

排気口周辺はランプの熱で温度が高くなっています。手などを触れると火傷の原因となります。

定期的にエアーフィルターをクリーニングする

約 1500 時間使用したら、必ずエアーフィルターのクリーニングをしてください。
クリーニングを怠るとフィルターにごみがたまり、内部に熱がこもって火災の原因となることがあります。

定期的に内部の掃除を依頼する

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1 年に 1 度は、内部の掃除をお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください（有料）。
特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

運搬するときは必ずハンドルを持つ

- 運搬するときは、必ずハンドルを持ってください。他の部分を持つとプロジェクターが壊れたり、落としてけがをすることがあります。
- 床置きのプロジェクターを移動させるとき、本体と設置面との間に指を挟まないようにご注意ください。

長期保管時は不安定な場所に立てておかない

倒れたり落ちたりしてけがの原因になることがあります。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機での使用が可能なソニー製乾電池についての注意事項を記載しています。

万一、異常が起きたら

・電池の液が目に入ったら

↓

すぐにきれいな水で洗い、ただちに医師の治療を受ける。

・煙が出たら

↓

お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに連絡する。

・電池の液が皮膚や衣服に付いたら

↓

すぐにきれいな水で洗い流す。

・バッテリー収納部内で液が漏れたら

↓

よくふき取ってから、新しい電池を入れる。

⚠警告

破裂

高温

下記の注意事項を守らないと、破裂・発熱・液漏れにより、死亡や大けがなどの人身事故になることがあります。

- 乾電池は充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、破裂・液漏れにより、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

- 投げつけない。
- 使用推奨期限内 (乾電池に記載) の乾電池を使用する。
- ⊕ と ⊖ の向きを正しく入れる。
- 電池を入れたまま長期間放置しない。
- 新しい電池と使用した電池は混ぜて使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 水や海水につけたり濡らしたりしない。

⚠警告

使用済みの乾電池は、取扱説明書または地域のルールに従って処分してください。

ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。高圧水銀ランプには、つぎのような特性があります。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがある。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがある。指定の時間内であっても破裂、または不点灯状態になることがある。
- 交換時期を越えると、破裂の可能性が高くなる。
  「ランプを交換してください」というメッセージが表示されたときには、ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しいランプと交換してください。

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

ランプ交換はランプが充分に冷えてから行う

電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。ランプ交換の際は、**電源を切ってから１時間以上**たって、充分にランプが冷えてから行ってください。

⚠注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

ランプが破裂したときはすぐに交換を依頼する

注意

ランプが破裂した際には、プロジェクター内部やランプハウス内にガラス片が飛散している可能性があります。**テクニカルインフォメーションセンターにランプの交換と内部の点検を依頼**してください。また、排気口よりガスや粉じんが出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれていますので、万が一吸い込んだり、目に入ったりした場合は、けがの原因となることがあります。

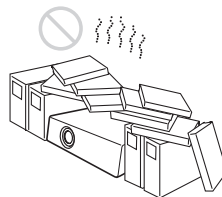
本機または使用済みランプを廃棄する場合

本機のランプの中には水銀が含まれています。
廃棄の際は、一般の廃棄物とは一緒にせず、地方自治体の条例または規則に従ってください。

設置・使用時のご注意

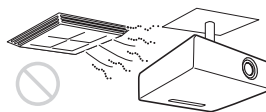
設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の**故障や破損の原因**となります。

風通しが悪い場所

- 吸気口および排気口は、内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪い場所を避け、通風口をふさがないように設置してください。
- 吸気口や排気口がふさがって、内部の温度が上昇すると、温度センサーが働き、「セット内部温度が高いです。1 分後に LAMP オフします。」という警告メッセージが表示され、1 分後に自動的に電源が切れます。
- 本機の周囲から 30cm 以内には物を置かないようにしてください。
- 吸気口には小さな紙などが吸い込まれやすいのでご注意ください。

温度や湿度が高い場所

温度や湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所での使用は避けてください。

空調の冷暖気が直接当たる場所

結露や異常温度上昇により、故障の原因となることがあります。

熱感知器や煙感知器のそば

感知器が誤動作する原因となることがあります。

ほこりが多い場所、たばこなどの煙が入る場所

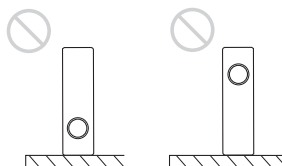
ほこりの多い場所、たばこなどの煙が入る場所での使用は避けてください。この様な場所で使用するとエアフィルターがつまりやすくなったり、故障や破損の原因となります。また、エアフィルターの汚れは内部の温度が上昇する原因になるので定期的に掃除してください。

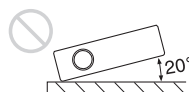
高地で使用する場合

海抜 1500m 以上でのご使用に際しては、設置設定メニューの高地モードの設定を「入」にしてください。「切」のままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

使用に適さない状態

次のような状態では使用しないでください。

本機を立てて使用する

プロジェクターを立ててお使いになることは避けてください。故障の原因となります。

本機を左右に傾ける

プロジェクターを 20 度以上傾けたり、床置きおよび天つり以外の設置でお使いになることは避けてください。色むらやランプの寿命を著しく損ねる原因となることがあります。

吸排気口を覆う

吸排気口をふさぐような覆いやカバーをしたり、毛足の長いじゅうたんなどの上では使用しないでください。吸排気口がふさがれると、内部の温度が上昇します。

レンズの前に遮蔽物を置く

投影中にレンズのすぐ前で光を遮らないでください。遮光した物に熱による変形など影響を与える可能性があります。投影を一時的に中断するときには、ピクチャーミューティング機能をお使いください。

使用上のご注意

液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。**これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。**

スクリーンについて

表面に凹凸のあるスクリーンを使用すると、本機とスクリーン間の距離やズーム倍率によって、まれに画面上に縞模様が現れる場合があります。これは本機の故障ではありません。

結露について

プロジェクターの設置してある**室内の急激な温度変化は結露を引き起こし、故障の原因**となりますので冷暖房にご注意ください。
結露とは、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだとき、本体の内部に水滴がつくことです。**結露が起きたときは、電源を入れたまま本機をそのまま約 2 時間放置**しておいてください。

ファンの音について

プロジェクターの内部には温度上昇を防ぐためにファンが取り付けられており、電源を入れると多少音を生じます。これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。しかし、異常音が発生した場合にはお買い上げ店にご相談ください。

部屋の照明について

直射日光や室内灯などで直接スクリーンを照らさないでください。美しく見やすい画像にするために、以下の点を参考にしてください。

- 集光形のダウンライトにする。
- 蛍光灯のような散光照明にはメッシュを使用する。
- 太陽の差し込む窓はカーテンやブラインドでさえぎる。
- 光を反射する床や壁はカーペットや壁紙でおおう。

お手入れについて

- キャビネットやパネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。なお、お手入れの際は必ず電源コードをコンセントから抜いてください。
- レンズに手を触れたり、固いもので傷をつけたりしないようにご注意ください。
- 必ず定期的にフィルターのクリーニングをしてください。

特約店様へ

設置を安全に行うために、この「安全のために」に記載されたすべての項目（お客様用を含む）とCD-ROM の内容をよくお読みください。

⚠警告

火災　感電

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

通風孔をふさぐような場所に設置しない

禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり､火災や故障の原因となることがあります｡風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から 30cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物(じゅうたんや布団など)の上に設置しない。
- 布などで包まない。

天井への取り付けには細心の注意をはらう

注意

- 天井への取り付け強度が不充分だと､落下により死亡や大けがにつながることがあります。
  必ずソニー製のプロジェクターサスペンションサポート PSS-610を使用してください。
- 取り付けを安全に行うために、本書､CD-ROM 内の特約店様用設置説明書､取扱説明書およびPSS-610 の取付説明書の注意事項をお読みください。
- 取り付けは､PSS-610 の取付説明書の手順に従い確実に行ってください｡取り付けが不完全な場合､落下する可能性があります。
  また､取り付け時には手をすべらせてプロジェクターを落下させ､けがをすることのないようご注意ください。

調整用工具を内部に入れない

調整中などに、工具を誤って内部に落とすと火災や感電の原因となることがあります。
万一、落とした場合は、すぐに電源を切り、電源コードを抜いてください。

容量の低い電源延長コードを使用しない

容量の低い延長コードを使うと、ショートしたり火災や感電の原因となることがあります。

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。プラグから出ている緑色のアースを、建物に備えられているアース端子に接続してください。

⚠注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

運搬・移動はハンドルを持って慎重に

- 運搬するときは、必ずハンドルを持ってください。他の部分を持つとプロジェクターが壊れたり、落としてけがをすることがあります。また、ハンドルと床や台の間に指を挟まないようにご注意ください。
- 床置きのプロジェクターを移動させるとき、本体と設置面との間に指を挟まないようにご注意ください。
- キャビネットのカバーを開けたまま、電源を切らずに移動させないでください。感電の原因となることがあります。

アジャスター調整時、手を挟まないよう注意する

アジャスターを回しすぎるとアジャスターがはずれ、手を挟むことがありますのでご注意ください。

コード類は正しく配置する

電源コードや接続コードを足に引っかけると転倒したり、プロジェクターの落下によりけがの原因となることがあります。充分注意して接続・配置してください。

低い天井に天吊りしない

頭などをぶつけてけがをすることがあります。

キャビネットのカバー類はしっかり固定する

天吊りの場合、カバー類が固定されていないと落下して、けがの原因となることがあります。

不明な点はお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

設置場所について

- 底面の吸気口および前面の排気口は、内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪い場所を避け、吸気口および排気口をふさがないように設置してください。
- 温度・湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所、ほこりの多い場所での使用は避けてください。
- 床置きおよび天井つり以外の設置でお使いになると、色むらやランプ寿命の劣化などの問題が起こることがありますので避けてください。

WARNING

To prevent fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

THIS APPARATUS MUST BE EARTHED.

WARNING

This unit has no power switch. When installing the unit, incorporate a readily accessible disconnect device in the fixed wiring, or connect the power cord to socket-outlet which must be provided near the unit and easily accessible.
If a fault should occur during operation of the unit, operate the disconnect device to switch the power supply off, or disconnect the power cord.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR USA ONLY.
If used in USA, use the UL LISTED power cord specified below.
DO NOT USE ANY OTHER POWER CORD.

Plug Cap	Parallel blade with ground pin (NEMA 5-15P Configuration)
Cord	Type SJT, three **16 or 18 AWG wires**
Length	Minimum 1.5 m (4 ft .11in.), Less than 2.5 m (8 ft .3 in.)
Rating	Minimum **10 A, 125 V**

Using this unit at a voltage other than 120V may require the use of a different line cord or attachment plug, or both.
To reduce the risk of fire or electric shock, refer servicing to qualified service personnel.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR OTHER COUNTRIES.

1. Use the approved Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug with earthing-contacts that conforms to the safety regulations of each country if applicable.
2. Use the Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug conforming to the proper ratings (Voltage, Ampere).

If you have questions on the use of the above Power Cord / Appliance Connector / Plug, please consult a qualified service personnel.

CAUTION

For safety, do not connect the connector for peripheral device wiring that might have excessive voltage to this port.
Follow the instructions for this port.

IMPORTANT

The nameplate is located on the bottom.

For the customers in the USA

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

All interface cables used to connect peripherals must be shielded in order to comply with the limits for a digital device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC Rules.

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the

following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For the customers in Canada

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Voor de klanten in Nederland

- Gooi de batterij niet weg maar lever deze in als klein chemisch afval (KCA).
- Dit apparaat bevat een vast ingebouwde batterij die niet vervangen hoeft te worden tijdens de levensduur van het apparaat.
- Raadpleeg uw leverancier indien de batterij toch vervangen moet worden. De batterij mag alleen vervangen worden door vakbekwaam servicepersoneel.
- Lever het apparaat aan het einde van de levensduur in voor recycling, de batterij zal dan op correcte wijze verwerkt worden.

CAUTION

RISK OF EXPLOSION IF BATTERY IS REPLACED BY AN INCORRECT TYPE.
DISPOSED OF USED BATTERIES ACCORDING TO THE INSTRUCTIONS.

For safety

Be sure to attach the air filter to the projector.

For the customers in Taiwan only

廢電池請回收

GB

Precautions

Warning

The Installation Manual contained in the CD-ROM is for dealers.
If customers perform the installation described in this manual, an accident may occur, causing serious injury. Never install it by yourself. For installation, be sure to consult with a Sony dealer.

On safety

- Check that the operating voltage of your unit is identical with the voltage of your local power supply. If voltage adaptation is required, consult with qualified Sony personnel.
- Should any liquid or solid object fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by qualified Sony personnel before operating it further.
- Unplug the unit from the wall outlet if it is not to be used for several days.
- To disconnect the cord, pull it out by the plug. Never pull the cord itself.
- The wall outlet should be near the unit and easily accessible.
- The unit is not disconnected from the AC power source (mains) as long as it is connected to the wall outlet, even if the unit itself has been turned off.
- Do not look into the lens while the lamp is on.
- Do not place your hand or objects near the ventilation holes — the air coming out is hot.
- Be careful not to catch your fingers by the adjuster when you adjust the height of the projector. Do not push hard on the top of the projector with the adjuster out.

On illumination

- To obtain the best picture, the front of the screen should not be exposed to direct lighting or sunlight.
- Ceiling-mounted spot lighting is recommended. Use a cover over fluorescent lamps to avoid lowering the contrast ratio.
- Cover any windows that face the screen with opaque draperies.
- It is desirable to install the projector in a room where floor and walls are not of light-reflecting material. If the floor and walls are of reflecting material, it is recommended that the carpet and wall paper be changed to a dark color.

On preventing internal heat build-up

- After you turn off the power with the I / ⏻ key on the control panel or on the Remote Commander, do not disconnect the unit from the wall outlet while the cooling fan is still running.
- Do not disconnect the AC power cord from the wall outlet while the fan is still running. (For dealers)

Caution

The projector is equipped with ventilation holes (intake) at the bottom and ventilation holes (exhaust) at the front. Do not block or place anything near these holes, or internal heat build-up may occur, causing picture degradation or damage to the projector.

On cleaning

- To keep the cabinet looking new, periodically clean it with a soft cloth. Stubborn stains may be removed with a cloth lightly dampened with a mild detergent solution. Never use strong solvents, such as thinner, benzene, or abrasive cleansers, since these will damage the cabinet.
- Avoid touching the lens. To remove dust on the lens, use a soft dry cloth. Do not use a damp cloth, detergent solution, or thinner.
- Clean the filter at regular intervals.

On repacking

- Save the original shipping carton and packing material; they will come in handy if you ever have to ship your unit. For maximum protection, repack your unit as it was originally packed at the factory.

On LCD projector

- The LCD projector is manufactured using high-precision technology. You may, however, see tiny black points and/or bright points (red, blue, or green) that continuously appear on the LCD projector. This is a normal result of the manufacturing process and does not indicate a malfunction.

For dealers

Please read throughly this Safety Regulations and Installation Manual contained in the CD-ROM for safe installation.

On safety

- Avoid using an extension cord with a low voltage limited since it may cause the short-circuit and physical incidents.
- To carry the projector, be sure to use the carrying handle. Do not hold other parts of the projector, especially the lens, nor catch your finger between the handle, floor, and the projector.
- Do not catch your finger between the unit and surface of the floor when moving the projector installed on the floor.
- Be careful not to catch your finger in the cooling fan.
- Do not carry the projector with the cabinet on and with its cover open.

On installation

- When the projector is mounted on the ceiling, the Sony PSS-610 Projector Suspension Support must be used for installation.
- Allow adequate air circulation to prevent internal heat build-up. Do not place the unit on surfaces (rugs, blankets, etc.) or near materials (curtains, draperies) that may block the ventilation holes. Leave space of more than 30 cm (11 7/8 inches) between the wall and the projector. Be aware that room heat rises to the ceiling; check that the temperature near the installation location is not excessive.
- Install the projector on the floor or ceiling. Any other installation causes a mulfunction such as color irregularity or shortening lamp life.
- Do not install the unit in a location near heat sources such as radiators or air ducts, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust or humidity, mechanical vibration or shock.
- To avoid moisture condensation, do not install the unit in a location where the temperature may rise rapidly.
- Be sure to secure the cabinet cover firmly when installing to the ceiling firmly.

Notes on Installation and Usage

Unsuitable Installation

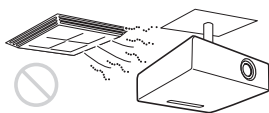
Do not install the projector in the following situations. **These installations may cause malfunction or damage** to the projector.

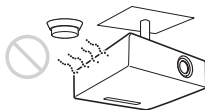
Poorly ventilated

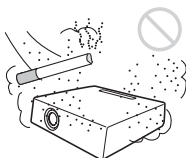
- Allow adequate air circulation to prevent internal heat build-up. Do not place the unit on surfaces (rugs, blankets, etc.) or near materials (curtains, draperies) that may block the ventilation holes.
- When the internal heat builds up due to the block-up, the temperature sensor will function with the message “High temp.! Lamp off in 1 min.” The power will be turned off automatically after one minute.
- Leave space of more than 30 cm (11 7/8 inches) around the unit.
- Be careful that the ventilation holes may inhale tininess such as a piece of paper.

Highly heated and humid

- Avoid installing the unit in a location where the temperature or humidity is very high, or temperature is very low.
- To avoid moisture condensation, do not install the unit in a location where the temperature may rise rapidly.

Subject to direct cool or warm air from an air-conditioner

Installing in such a location may cause malfunction of the unit due to moisture condensation or rise in temperature.

Near a heat or smoke sensor

Malfunction of the sensor may be caused.

Very dusty, extremely smoky

Avoid installing the unit in a very dusty or extremely smoky environment. Otherwise, the air filter will become obstructed, and this may cause a malfunction of the unit or damage it. Dust preventing the air passing through the filter may cause a rise in the internal temperature of the unit. Clean the filter periodically.

Usage in High Altitude

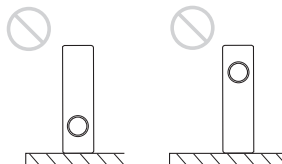
When using the projector at an altitude of 1,500 m or higher, turn on “High Altitude Mode” in the INSTALL SETTING menu. Failing to set this mode when using the projector at high altitudes could have adverse effects, such as reducing the reliability of certain components.

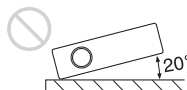
Note on the screen

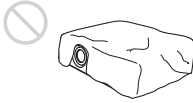
When using a screen with an uneven surface, stripes pattern may rarely appear on the screen depending on the distance between the screen and the projector or the zooming magnifications. This is not a malfunction of the projector.

Unsuitable Conditions

Do not use the projector under the following conditions.

Toppling the unit.

Avoid using as the unit topples over on its side. It may cause malfunction.

Tilting right/left

Avoid using as the unit tilts more than 20 degrees. Do not install the unit other than on the floor or ceiling. These installations may cause malfunction.

Blocking the ventilation holes

Avoid using something to cover over the ventilation holes (exhaust/intake); otherwise, the internal heat may build up.

Placing a blocking object just in front of the lens

Do not place any object just in front of the lens that may block the light during projection. Heat from the light may damage the object. Use the PIC MUTING key on the Remote Commander to cut off the picture.

Note

When using a screen with an uneven surface, stripes pattern may rarely appear on the screen depending on the distance between the screen and the projector or the zooming magnifications. This is not a malfunction of the projector.

AVERTISSEMENT

Afin d'éviter tout risque d'incendie ou d'électrocution, n'exposez pas cet appareil à la pluie ou à l'humidité.

Afin d'éviter tout risque d'électrocution, n'ouvrez pas le châssis. Confiez l'entretien uniquement à un personnel qualifié.

CET APPAREIL DOIT ÊTRE RELIÉ À LA TERRE.

AVERTISSEMENT

Cet appareil ne possède pas d'interrupteur d'alimentation.
Lors de l'installation de l'appareil, incorporer un dispositif de coupre dans le câblage fixe ou brancher le cordon d'alimentation dans une prise murale proche de l'appareil et facilement accessible.
En cas de problème lors du fonctionnement de l'appareil, enclencher le dispositif de coupre d'alimentation ou dèbrancher le cordon de la prise.

AVERTISSEMENT:

1. Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des contacts de mise à la terre conformes à la réglementation de sécurité locale applicable.
2. Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des caractéristiques nominales (tension, ampérage) appropriées.

Pour toute question sur l'utilisation du cordon d'alimentation/fiche femelle/fiche mâle ci-dessus, consultez un technicien du service après-vente qualifié.

ATTENTION

Par mesure de sécurité, ne raccordez pas le connecteur pour le câblage de périphériques pouvant avoir une tension excessive à ce port. Suivez les instructions pour ce port.

IMPORTANT

La plaque signalétique se situe sous l'appareil.

Pour les utilisateurs au Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

ATTENTION

RISQUE D'EXPLOSION SI LA PILE EST REMPLACÉE PAR UNE DE TYPE INCORRECT.
DÉBARRASSEZ-VOUS DES PILES USAGÉES EN RESPECTANT LES INSTRUCTIONS.

Par mesure de sécurité

Remettez le filtre à air en place sur le projecteur.

Précautions

Avertissement

Le Manuel d'installation que contient le CD-ROM s'adresse aux revendeurs.
Il y a risque d'accident et de blessure grave si les clients exécutent eux-mêmes l'installation décrite dans ce manuel.
N'effectuez jamais vous-même l'installation. Pour l'installation, vous devez vous informer auprès d'un revendeur Sony.

Sécurité

- Assurez-vous que la tension de service de votre appareil est identique à la tension locale. Si un adaptateur de tension est nécessaire, contactez le personnel autorisé de Sony.
- Si du liquide ou un objet quelconque venait à pénétrer dans le boîtier, débranchez l'appareil et faites-le vérifier par un technicien qualifié Sony avant de le remettre en service.
- Débranchez l'appareil de la prise murale si vous n'avez pas l'intention de l'utiliser pendant plusieurs jours.
- Pour débrancher le cordon, tirez-le par la fiche. Ne tirez jamais sur le cordon lui-même.
- La prise murale doit se trouver à proximité de l'appareil et être facile d'accès.
- Même si vous mettez l'appareil hors tension, il demeure connecté à la source d'alimentation secteur tant qu'il est branché dans la prise de courant murale.
- Ne regardez pas dans l'objectif lorsque la lampe est allumée.
- Ne placez pas les mains ni aucun objet près des orifices de ventilation — l'air qui s'en échappe est très chaud.
- Veillez à ne pas vous pincer les doigts avec les pieds réglables lorsque vous réglez la hauteur du projecteur. N'exercez pas une trop forte pression sur le dessus du projecteur lorsque les pieds réglables sont déployés.

Éclairage

- Pour obtenir la meilleure qualité d'image possible, l'avant de l'écran ne doit pas être directement exposé à la source d'éclairage ni au rayonnement solaire.
- Nous préconisons un éclairage au moyen de spots fixés au plafond. Placez un écran sur les lampes fluorescentes de façon à éviter une altération du rapport de contraste.
- Couvrez les fenêtres qui font face à l'écran au moyen de rideaux opaques.
- Il est préférable d'installer le projecteur dans une pièce où le sol et les murs ne sont pas revêtus d'un matériau réfléchissant la lumière. Si le sol et les murs réfléchissent la lumière, nous vous recommandons de remplacer le revêtement du sol et des murs par une couleur sombre.

Prévention de la surchauffe interne

- Après avoir mis l'appareil hors tension avec la touche I / ⏻ du panneau de commande ou de la télécommande, ne débranchez pas l'appareil de la prise murale tant que le ventilateur de refroidissement tourne.
- Ne débranchez pas le cordon d'alimentation de la prise murale alors que le ventilateur tourne encore. (Pour les revendeurs)

Attention

Le projecteur est équipé d'orifices de ventilation sur sa surface inférieure (entrée d'air) et à l'avant (sortie d'air). N'obstruez pas ces orifices et ne placez rien à proximité car vous risqueriez de provoquer une surchauffe interne pouvant entraîner une altération de l'image ou des dommages au projecteur.

Nettoyage

- Pour conserver au châssis l'éclat du neuf, nettoyez-le régulièrement au moyen d'un chiffon doux. Pour éliminer les taches récalcitrantes, employez un chiffon légèrement imprégné d'une solution détergente neutre. N'utilisez en aucun cas des solvants puissants tels que diluant, benzène ou des agents nettoyants abrasifs car ceci pourrait endommager le fini du châssis.
- Ne touchez pas l'objectif. Pour dépoussiérer l'objectif, employez un

chiffon doux et sec. N'utilisez pas de chiffon humide, de solution détergente ni de diluant.
• Nettoyez le filtre à intervalles réguliers.

Emballage

• Conservez le carton d'emballage et les matériaux de conditionnement d'origine car ils constitueront une protection idéale si vous êtes amené à transporter l'appareil. Pour une protection optimale, remballez votre appareil comme il l'était à sa sortie d'usine.

Projecteur LCD

• Le projecteur LCD est fabriqué selon une technologie de fabrication de haute précision. Il est cependant possible que de petits points noirs et/ou lumineux (rouges, bleus ou verts) apparaissent continuellement sur le projecteur LCD. Ceci est un résultat normal du processus de fabrication et n'est pas le signe d'un dysfonctionnement.

Pour les revendeurs

Pour une installation sûre, veuillez lire l'ensemble des présents Règlements de sécurité et du Manuel d'installation que contient le CD-ROM.

Sécurité

• Évitez d'utiliser un cordon prolongateur à faible tension, car cela risquerait de causer un court-circuit et un accident matériel.
• Pour transporter le projecteur, vous devez le tenir par sa poignée de transport. Ne tenez le projecteur par aucune autre pièce, et tout particulièrement par l'objectif, et prenez garde de vous coincer les doigts entre la poignée, le plancher et le projecteur.
• Prenez garde de vous coincer les doigts entre l'appareil et la surface du plancher lorsque vous déplacez le projecteur alors qu'il est installé sur le plancher.
• Prenez garde de vous coincer les doigts dans le ventilateur de refroidissement.
• Ne transportez pas le projecteur sans avoir d'abord fermé le cabinet et le couvercle.

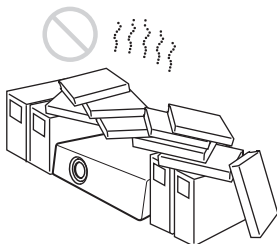
Lors de l'installation

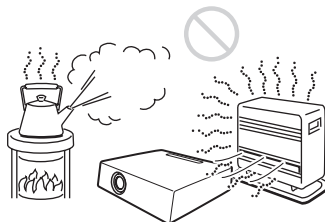
• Pour monter le projecteur au plafond, il faut utiliser le support de montage au plafond Sony PSS-610 lors de l'installation.
• Assurez une circulation d'air adéquate afin d'éviter toute surchauffe interne. Ne placez pas l'appareil sur des surfaces textiles (tapis, couvertures, etc.) ni à proximité de rideaux ou de draperies susceptibles d'obstruer les orifices de ventilation. Laissez un espace libre de plus de 30 cm (11 7/8 pouces) entre le mur et le projecteur. N'oubliez pas que la chaleur de la pièce monte au plafond. Assurez-vous donc que la température n'est pas trop élevée à l'emplacement choisi pour l'installation.
• Installez le projecteur sur le plancher ou au plafond. Tout autre type d'installation risque de causer un dysfonctionnement, comme par exemple des couleurs anormales ou une durée de vie réduite de la lampe.
• N'installez pas l'appareil près d'une source de chaleur telle qu'un radiateur ou un conduit d'air, ou dans un emplacement exposé directement à la lumière du soleil, très poussiéreux ou humide, ou sujet à des vibrations mécaniques ou chocs.
• Pour éviter la condensation d'humidité, n'installez pas l'appareil dans un endroit où la température peut augmenter rapidement.
• Vous devez fermer le couvercle du cabinet solidement lors de l'installation au plafond.

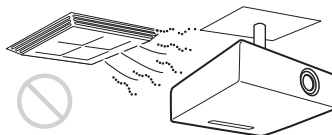
Remarques sur l’installation et l’utilisation

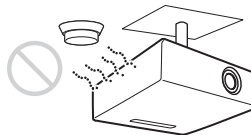
Installation déconseillée

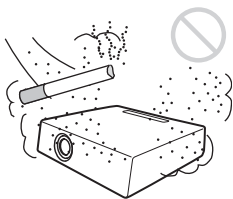
N’installez pas le projecteur dans les conditions suivantes. **Ces installations peuvent entraîner un dysfonctionnement ou causer des dommages** au projecteur.

Mauvaise aération

- Assurez une circulation d’air adéquate afin d’éviter toute surchauffe interne. Ne placez pas l’appareil sur des surfaces textiles (tapis, couvertures, etc.) ni à proximité de rideaux ou de draperies susceptibles d’obstruer les orifices de ventilation.
- En cas de surchauffe interne due à une obstruction, le capteur de température est activé et le message « Surchauffe! Lampe OFF 1 min. » s’affiche. Le projecteur se met automatiquement hors tension après une minute.
- Laissez un espace libre de plus de 30 cm (11 7/8 pouces) autour de l’appareil.
- Veillez à ce que les orifices de ventilation n’aspirent pas de particules telles que des morceaux de papier.

Exposition à la chaleur et à l’humidité

- N’installez pas l’appareil dans un endroit très chaud, très humide ou très froid.
- Pour éviter la condensation d’humidité, n’installez pas l’appareil dans un endroit où la température peut augmenter rapidement.

Exposition au flux d’air froid ou chaud d’un climatiseur

L’installation dans un tel endroit peut causer un mauvais fonctionnement de l’appareil suite à la condensation de l’humidité ou à l’élévation de la température.

Près d’un détecteur de chaleur ou de fumée

Cela risquerait de causer un mauvais fonctionnement du détecteur.

Très poussiéreux, extrêmement enfumé

Évitez d'installer l'appareil dans un endroit très poussiéreux ou extrêmement enfumé. Autrement, le filtre à air se bouchera, ce qui risque de causer un dysfonctionnement de l'appareil ou de l'endommager. La température interne de l'appareil risque de s'élever si la poussière empêche l'air de passer par le filtre. Nettoyez le filtre régulièrement.

Utilisation à haute altitude

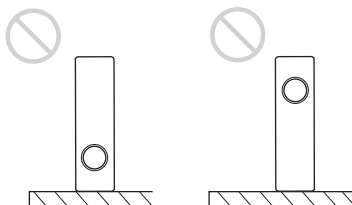
Si vous utilisez le projecteur à une altitude de 1 500 m ou supérieure, activez « Mode haute altit. » dans le menu RÉGLAGE D'INSTALLATION. Si vous n'activez pas ce mode lors d'une utilisation à haute altitude, il pourra en résulter des effets défavorables pour le projecteur tels que la diminution de la fiabilité de certaines pièces.

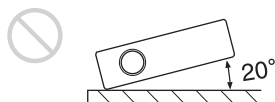
Remarque sur l'écran

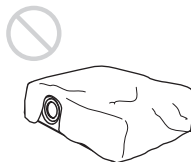
Si la surface de l'écran est irrégulière, il se peut dans certains cas (rares) que des motifs rayés apparaissent sur l'écran à certaines distances entre l'écran et le projecteur ou certains grossissements du zoom. Ceci n'est pas une anomalie du projecteur.

Positions déconseillées

N'utilisez pas le projecteur dans les conditions suivantes.

Installation de l'appareil à la verticale

Évitez d'utiliser le projecteur dans une position qui pourrait entraîner un basculement. Ceci pourrait provoquer un dysfonctionnement.

Inclinaison à droite/gauche

Évitez d'utiliser le projecteur avec une inclinaison latérale supérieure à 20 degrés. N'installez pas le projecteur ailleurs qu'au sol ou au plafond. Il pourrait en résulter un dysfonctionnement.

Obturation des orifices de ventilation

Ne recouvrez pas les orifices de ventilation du projecteur (prise/sortie d'air) pour éviter une surchauffe interne.

Placement d’un objet bloquant juste devant l’objectif

Ne placez aucun objet juste devant l’objectif qui pourrait bloquer la lumière durant la projection. La chaleur provenant de la lumière risque d’endommager l’objet. Utilisez la touche PIC MUTING de la télécommande pour couper l’image.

Remarque

Si la surface de l’écran est irrégulière, il se peut dans certains cas (rares) que des motifs rayés apparaissent sur l’écran à certaines distances entre l’écran et le projecteur ou certains grossissements du zoom. Ceci n’est pas une anomalie du projecteur.

ADVERTENCIA

Para evitar el riesgo de incendio o electrocución, no exponga la unidad a la lluvia ni a la humedad.

Para evitar recibir descargas eléctricas, no abra el aparato. Contrate exclusivamente los servicios de personal cualificado.

ESTE APARATO DEBE CONECTARSE A TIERRA.

ADVERTENCIA

Esta unidad no dispone de interruptor de alimentación.
Al instalar la unidad, incluya un dispositivo de desconexión fácilmente accesible en el cableado fijo, o conecte el cable de alimentación a una toma de corriente que debe estar cerca de la unidad y ser de fácil acceso.
Si se produce una anomalía durante el funcionamiento de la unidad, accione el dispositivo de desconexión para desactivar la alimentación o desconecte los cables de alimentación.

ADVERTENCIA

1. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato recomendado con toma de tierra y que cumpla con la normativa de seguridad de cada país, si procede.
2. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato que cumpla con los valores nominales correspondientes en cuanto a tensión e intensidad.

Si tiene alguna duda sobre el uso del cable de alimentación/conector/enchufe del aparato, consulte a un técnico de servicio cualificado.

PRECAUCIÓN

Por razones de seguridad, no enchufe a este puerto un conector de cableado de dispositivo periférico que pueda tener una tensión excesiva. Siga las instrucciones de este puerto de conexión.

IMPORTANTE

La placa de características está situada en la parte inferior.

PRECAUCIÓN

EXISTE RIESGO DE EXPLOSIÓN SI SE SUSTITUYE LA BATERÍA POR OTRA DE UN TIPO INCORRECTO.
DESECHE LAS BATERÍAS USADAS DE ACUERDO CON LAS INSTRUCCIONES.

Por razones de seguridad

No olvide sujetar el filtro de aire al proyector.

Precauciones

Advertencia

El manual de instalación contenido en el CD-ROM es para los distribuidores.
Si un cliente realiza la instalación descrita en el manual puede producirse un accidente que provoque lesiones graves. No la instale nunca usted mismo. Para la instalación, consulte con un distribuidor de Sony.

Seguridad

- Compruebe que la tensión de funcionamiento de la unidad sea la misma que la del suministro eléctrico local. Si es necesario adaptar la tensión, consulte con personal especializado de Sony.
- Si se introduce algún objeto sólido o líquido en la unidad, desenchúfela y haga que sea revisada por personal Sony especializado antes de volver a utilizarla.
- Desenchufe la unidad de la toma mural cuando no vaya a utilizarla durante varios días.
- Para desconectar el cable, tire del enchufe. Nunca tire del propio cable.
- La toma mural debe encontrarse cerca de la unidad y ser de fácil acceso.
- La unidad no estará desconectada de la fuente de alimentación de CA (toma de corriente) mientras esté conectada a la toma mural, aunque haya apagado la unidad.
- No mire al objetivo mientras la lámpara esté encendida.
- No coloque la mano ni ningún objeto cerca de los orificios de ventilación — el aire que sale es caliente.
- Tenga cuidado de no pillarse los dedos con el ajustador cuando ajuste la altura del proyector. No ejerza una presión excesiva sobre la parte superior del proyector cuando el ajustador estén fuera.

Iluminación

- Con el fin de obtener imágenes con la mejor calidad posible, la parte frontal de la pantalla no debe estar expuesta a la luz solar ni a iluminaciones directas.
- Se recomienda utilizar una luz proyectora en el techo. Cubra las lámparas fluorescentes para evitar que se produzca una disminución en la relación de contraste.
- Cubra con tela opaca las ventanas que estén orientadas hacia la pantalla.
- Es recomendable instalar el proyector en una sala cuyo suelo y paredes estén hechos con materiales que no reflejen la luz. Si el suelo y las paredes están hechos de dicho tipo de material, se recomienda cambiar el color de éstos por uno oscuro.

Prevención del calentamiento interno

- Después de desactivar la alimentación con la tecla I / ⏻ del panel de control o del mando a distancia, no desconecte la unidad de la toma mural mientras el ventilador de refrigeración esté en funcionamiento.
- No desconecte el cable de alimentación CA de la toma mural mientras esté en funcionamiento el ventilador. (Para distribuidores)

Precaución

El proyector está equipado con orificios de ventilación de admisión en la parte inferior y de escape en la parte frontal. No bloquee dichos orificios ni coloque nada cerca de ellos, ya que si lo hace puede producirse un recalentamiento interno, causando el deterioro de la imagen o daños al proyector.

Limpieza

- Para mantener el exterior de la unidad como nuevo, límpielo periódicamente con un paño suave. Las manchas persistentes pueden eliminarse con un paño ligeramente humedecido en una solución detergente suave. No utilice nunca disolventes concentrados, como diluyente, bencina o limpiadores abrasivos, ya que dañarán el exterior.
- Evite tocar el objetivo. Utilice un paño seco y suave para eliminar el polvo del objetivo. No utilice un paño húmedo, soluciones detergentes ni diluyentes.
- Limpie el filtro con regularidad.

Embalaje

- Guarde la caja y los materiales de embalaje originales, ya que resultarán útiles cuando tenga que embalar la unidad. Para obtener una máxima protección, vuelva a embalar la unidad como se embaló originalmente en fábrica.

Proyector LCD

- El proyector LCD está fabricado con tecnología de alta precisión. No obstante, es posible que se observen pequeños puntos negros, brillantes (rojos, azules o verdes) o ambos, de forma continua, en el proyector LCD. Se trata de un resultado normal del proceso de fabricación y no indica fallo de funcionamiento.

Para distribuidores

Lea detenidamente estas reglas de seguridad y el manual de instalación contenido en el CD-ROM para asegurarse de la seguridad de las instalaciones.

Seguridad

- Evite utilizar un cable prolongador con un bajo límite de tensión, ya que puede producir cortocircuitos e incidentes físicos.
- Para transportar el proyector, utilice el asa de transporte. No sostenga el proyector por otras partes, en especial por el objetivo, ni se atrape los dedos entre el asa, el suelo y el proyector.
- No se atrape los dedos entre la unidad y la superficie del suelo al mover un proyector instalado en el suelo.
- Tenga cuidado de no atraparse los dedos con el ventilador de refrigeración.
- No transporte el proyector guardado en su estuche y con la tapa abierta.

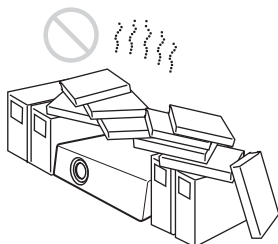
Sobre la instalación

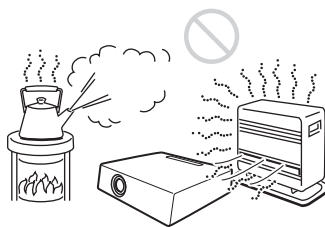
- Si se instala el proyector en el techo, deberá utilizarse un soporte de suspensión Sony PSS-610.
- Permita una circulación de aire adecuada para evitar el recalentamiento interno. No coloque la unidad sobre superficies (alfombras, mantas, etc.) ni cerca de materiales (cortinas, tapices, etc.) que puedan bloquear los orificios de ventilación. Deje un espacio superior a 30 cm (11 7 /8 pulgadas) entre la pared y el proyector. Tenga en cuenta que el calor de la habitación se eleva hacia el techo; compruebe que la temperatura alrededor de la ubicación de instalación no sea excesiva.
- Instale el proyector en el suelo o en el techo. Cualquier otra instalación provocará averías tales como irregularidades en el color o el acortamiento de la vida útil de la lámpara.
- No instale la unidad en una ubicación cercana a fuentes de calor tales como radiadores o conducciones de aire, ni en un lugar sujeto a la luz directa del sol, demasiado polvo o humedad, vibraciones mecánicas o golpes.
- Para evitar que se condense humedad, no instale la unidad en lugares en los que la temperatura pueda aumentar rápidamente.
- Cierre firmemente la tapa de la carcasa cuando lo instale en el techo.

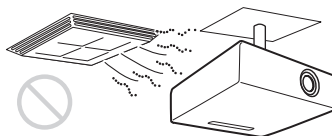
Notas sobre la instalación y el uso

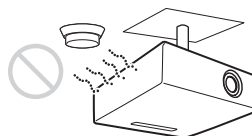
Instalación inadecuada

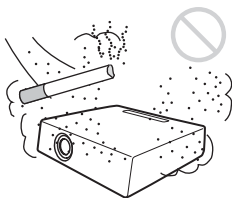
No instale el proyector en las siguientes situaciones. **Estas instalaciones pueden producir fallos de funcionamiento o daños** al proyector.

Ventilación escasa

- Permita una circulación de aire adecuada para evitar el recalentamiento interno. No coloque la unidad sobre superficies (alfombras, mantas, etc.) ni cerca de materiales (cortinas, tapices, etc.) que puedan bloquear los orificios de ventilación.
- Si se produce recalentamiento interno debido al bloqueo de los orificios, el sensor de temperatura se activará y aparecerá el mensaje “Temperatura alta! Apag. 1 min.”. La alimentación se desactivará automáticamente tras un minuto.
- Deje un espacio superior a 30 cm (11 7/8 pulgadas) alrededor de la unidad.
- Procure que no se introduzcan elementos extraños de tamaño reducido por los orificios de ventilación, como por ejemplo trozos de papel.

Calor y humedad excesivos

- Evite instalar la unidad en lugares en los que la temperatura o la humedad sean muy elevadas, o en los que la temperatura sea muy baja.
- Para evitar que se condense humedad, no instale la unidad en lugares en los que la temperatura pueda aumentar rápidamente.

Expuesto a un flujo directo de aire frío o caliente procedente de un aparato de climatización

Si la instala en una ubicación de estas características, la unidad puede averiarse debido a la condensación de humedad o al aumento de tempertura.

Cerca de un sensor de calor o de humo

Puede provocar que el sensor de avería.

Con mucho polvo o humo excesivo

Evite instalar la unidad en un entorno en el que haya un exceso de polvo o humo. Si lo hace, el filtro de aire se obstruirá, y es posible que la unidad se averíe o se dañe. El polvo, que impide que el aire pase por el filtro, puede provocar que la temperatura interna de la unidad aumente. Limpie el filtro regularmente.

Uso en altitudes elevadas

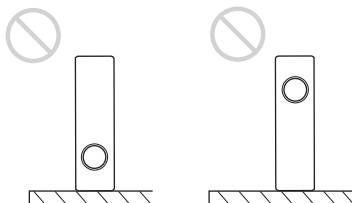
Si utiliza el proyector a altitudes de 1.500 m o más, active el “Modo gran altitud” en el menú AJUSTE INSTALACIÓN. El no establecer este modo cuando se utilice el proyector a grandes altitudes podrá acarrear efectos adversos, tales como reducción de la fiabilidad de ciertos componentes.

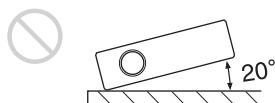
Nota sobre la pantalla

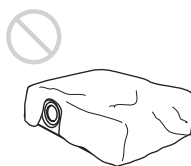
Cuando utilice una pantalla de superficie irregular, en raras ocasiones aparecerán patrones de bandas en la pantalla, dependiendo de la distancia entre la pantalla y el proyector y de la ampliación del zoom. Esto no significa una avería del proyector.

Condiciones inadecuadas

No emplee el proyector en las siguientes condiciones.

Unidad en posición vertical

Evite utilizar la unidad en posición vertical apoyada en un lateral. Pueden producirse fallos de funcionamiento.

Inclinación a derecha e izquierda

Evite utilizar la unidad con una inclinación superior a 20 grados. Instale la unidad únicamente en el suelo o en el techo. Si no lo hace así, puede provocar averías.

Bloqueo de los orificios de ventilación

Evite emplear algo que cubra los orificios de ventilación (escape/aspiración); en caso contrario, es posible que se produzca un recalentamiento interno.

Colocar un objeto que bloquee el objetivo justo delante del objetivo

No coloque ningún objeto justo delante del objetivo que pueda bloquear la luz durante la proyección. El calor de la luz puede dañar el objetivo. Utilice la tecla PIC MUTING del mando a distancia para interrumpir la imagen.

Nota

Cuando utilice una pantalla de superficie irregular, en raras ocasiones aparecerán patrones de bandas en la pantalla, dependiendo de la distancia entre la pantalla y el proyector y de la ampliación del zoom. Esto no significa una avería del proyector.

WARNUNG

Um Feuer- oder Berührungsgefahr zu verhüten, setzen Sie das Gerät weder Regen noch Feuchtigkeit aus.

Um einen elektrischen Schlag zu vermeiden, öffnen Sie nicht das Gehäuse. Überlassen Sie Wartungsarbeiten nur qualifiziertem Fachpersonal.

DIESES GERÄT MUSS GEERDET WERDEN.

WARNUNG

Dieses Gerät hat keinen Netzschalter.
Beim Einbau des Geräts ist daher im Festkabel ein leicht zugänglicher Unterbrecher einzufügen, oder das Netzkabel muß mit einer in der Nähe des Geräts befindlichen, leicht zugänglichen Wandsieckdose verbunden werden.
Wenn während des Betriebs eine Funktionsstörung auftritt, ist der Unterbrecher zu betätigen bzw. das Netzkabel abzuziehen, damit die Stromversorgung zum Gerät unterbrochen wird.

WARNUNG

1. Verwenden Sie ein geprüftes Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen geprüften Geräteanschluss/einen geprüften Stecker mit Schutzkontakten entsprechend den Sicherheitsvorschriften, die im betreffenden Land gelten.
2. Verwenden Sie ein Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen Geräteanschluss/einen Stecker mit den geeigneten Anschlusswerten (Volt, Ampere).

Wenn Sie Fragen zur Verwendung von Netzkabel/Geräteanschluss/Stecker haben, wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Kundendienstpersonal.

ACHTUNG

Aus Sicherheitsgründen nicht mit einem Peripheriegerät-Anschluss verbinden, der zu starke Spannung für diese Buchse haben könnte. Folgen Sie den Anweisungen für diese Buchse.

WICHTIG

Das Namensschild befindet sich auf der Unterseite des Gerätes.

VORSICHT

WIRD DIE BATTERIE DURCH EINEN FALSCHEN TYP ERSETZT, BESTEHT EXPLOSIONSGEFAHR.
ENTSORGEN SIE VERBRAUCHTE BATTERIEN GEMÄSS DEN ANWEISUNGEN.

Zur Sicherheit

Bringen Sie unbedingt den Luftfilter am Projektor an.

Für Kunden in Deutschland

Entsorgungshinweis: Bitte werfen Sie nur entladene Batterien in die Sammelboxen beim Handel oder den Kommunen. Entladen sind Batterien in der Regel dann, wenn das Gerät abschaltet und signalisiert „Batterie leer“ oder nach längerer Gebrauchsdauer der Batterien „nicht mehr einwandfrei funktioniert“. Um sicherzugehen, kleben Sie die Batteriepole z.B. mit einem Klebestreifen ab oder geben Sie die Batterien einzeln in einen Plastikbeutel.

Vorsichtsmaßnahmen

Warnung

Die auf der CD-ROM enthaltene Installationsanleitung ist für Händler bestimmt.
Falls Kunden die in dieser Anleitung beschriebene Installation durchführen, kann ein Unfall mit daraus resultierenden schweren Verletzungen auftreten. Führen Sie die Installation auf keinen Fall selbst durch. Wenden Sie sich bezüglich der Installation an einen Sony-Händler.

Zur Sicherheit

- Achten Sie darauf, dass die Betriebsspannung des Gerätes der lokalen Netzspannung entspricht. Falls eine Spannungsanpassung erforderlich ist, konsultieren Sie qualifiziertes Sony-Personal.
- Sollten Flüssigkeiten oder Fremdkörper in das Gerät gelangen, ziehen Sie das Netzkabel ab, und lassen Sie das Gerät von qualifiziertem Sony-Personal überprüfen, bevor Sie es weiter benutzen.
- Soll das Gerät einige Tage lang nicht benutzt werden, trennen Sie es von der Netzsteckdose.
- Ziehen Sie zum Trennen des Kabels am Stecker. Niemals am Kabel selbst ziehen.
- Die Netzsteckdose sollte sich in der Nähe des Gerätes befinden und leicht zugänglich sein.
- Das Gerät ist auch im ausgeschalteten Zustand nicht vollständig vom Stromnetz getrennt, solange der Netzstecker noch an der Netzsteckdose angeschlossen ist.
- Blicken Sie bei eingeschalteter Lampe nicht in das Objektiv.
- Halten Sie Ihre Hände oder Gegenstände von den Lüftungsöffnungen fern — die austretende Luft ist heiß.
- Achten Sie beim Einstellen der Höhe des Projektors darauf, dass Sie sich nicht die Finger an den Einstellfüßen klemmen. Vermeiden Sie festes Drücken auf die Oberseite des Projektors bei ausgefahrenen Einstellfüßen.

Zur Beleuchtung

- Um eine optimale Bildqualität zu erzielen, achten Sie darauf, dass die Vorderseite der Leinwand keinem direkten Kunst- oder Sonnenlicht ausgesetzt ist.
- Deckenmontierte Punktstrahler sind zu empfehlen. Leuchtstofflampen sollten abgedeckt werden, um eine Herabsetzung des Kontrastverhältnisses zu vermeiden.
- Fenster, die der Leinwand gegenüberliegen, sollten mit lichtundurchlässigen Vorhängen verdeckt werden.
- Der Projektor sollte möglichst in einem Raum installiert werden, dessen Boden und Wände aus nicht reflektierendem Material bestehen. Ist dies nicht möglich, sollten Sie für Bodenbelag und Wandverkleidung ein dunkles Material wählen.

Zur Verhütung eines internen Wärmestaus

- Trennen Sie den Projektor nicht unmittelbar nach dem Ausschalten mit der Taste I / ⏻ an der Bedienungstafel oder an der Fernbedienung von der Netzsteckdose, solange der Lüfter noch läuft.
- Ziehen Sie nicht das Netzkabel von der Netzsteckdose ab, solange der Lüfter noch läuft. (Für Händler)

Vorsicht

Der Projektor besitzt Lüftungsöffnungen an der Unterseite (Einlass) und an der Vorderseite (Auslass). Der Luftstrom durch diese Öffnungen darf nicht blockiert oder durch in der Nähe abgestellte Gegenstände behindert werden, weil es sonst zu einem internen Wärmestau kommen kann, der eine Verschlechterung der Bildqualität oder eine Beschädigung des Projektors zur Folge haben kann.

Zur Reinigung

- Damit das Gehäuse immer wie neu aussieht, sollte es regelmäßig mit einem weichen Tuch gereinigt werden. Hartnäckige Schmutzflecken können mit einem Tuch entfernt werden, das Sie leicht mit einer milden Reinigungslösung angefeuchtet haben. Verwenden Sie keine starken Lösungsmittel, wie Verdünner oder Benzin, und auch keine Scheuermittel, weil diese das Gehäuse angreifen.
- Vermeiden Sie eine Berührung des Objektivs. Am Objektiv haftender Staub kann mit einem weichen, trockenen Tuch entfernt werden. Verwenden Sie kein feuchtes Tuch und auch keine Reinigungslösung oder Verdünner.
- Reinigen Sie den Filter in regelmäßigen Abständen.

Zum Verpacken

- Bewahren Sie den Originalkarton und das Verpackungsmaterial gut auf für den Fall, dass Sie das Gerät später einmal transportieren müssen. Am besten geschützt ist das Gerät beim Transport, wenn Sie es wieder so verpacken, wie es geliefert wurde.

Info zum LCD-Projektor

- Der LCD-Datenprojektor wird unter Anwendung von Präzisionstechnologie hergestellt. Dennoch sind möglicherweise winzige schwarze und/oder helle (rote, blaue oder grüne) Punkte ständig im Bild des LCD-Datenprojektors sichtbar. Diese Punkte sind ein normales Ergebnis des Herstellungsprozesses und stellen kein Anzeichen für eine Funktionsstörung des Gerätes dar.

Für Händler

Bitte lesen Sie diese Sicherheitsbestimmungen und die in der CD-ROM enthaltene Installationsanleitung aufmerksam durch, um eine sichere Installation zu gewährleisten.

Zur Sicherheit

- Vermeiden Sie die Benutzung eines Verlängerungskabels mit niedriger Spannungsgrenze, weil es einen Kurzschluss und Sachschäden verursachen kann.
- Tragen Sie den Projektor nur am Tragegriff. Achten Sie darauf, dass Sie den Projektor nicht an anderen Teilen, vor allem nicht am Objektiv, halten und sich nicht die Finger zwischen Griff, Boden und Projektor klemmen.
- Klemmen Sie sich nicht die Finger zwischen dem Projektor und der Bodenfläche, wenn Sie den auf den Boden gestellten Projektor bewegen.
- Achten Sie darauf, dass Ihre Finger nicht vom Lüfter erfasst werden.
- Tragen Sie den Projektor nicht mit aufgesetztem Gehäuse und offener Abdeckung.

Info zur Installation

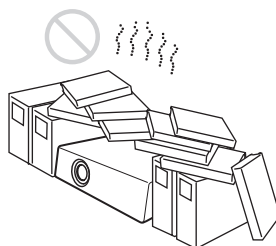
- Soll der Projektor an der Decke montiert werden, muss der Projektor-Deckenhalter PSS-610 von Sony für die Installation verwendet werden.
- Achten Sie auf ausreichende Luftzufuhr, damit sich im Gerät kein Wärmestau bildet. Stellen Sie das Gerät nicht auf Oberflächen, wie Teppichen oder Decken oder in der Nähe von Materialien wie Gardinen und Wandbehängen auf, welche die Lüftungsöffnungen blockieren könnten. Halten Sie einen Abstand von mindestens 30 cm zwischen der Wand und dem Projektor ein. Bedenken Sie, dass die Zimmerwärme zur Decke steigt, und prüfen Sie, dass die Temperatur in der Nähe der Installationsposition nicht zu hoch ist.

- Installieren Sie den Projektor auf dem Boden oder an der Decke. Jede andere Installationsart verursacht Funktionsstörungen, wie Farbabweichungen oder Verkürzung der Lampenlebensdauer.
- Installieren Sie den Projektor nicht in der Nähe von Wärmequellen, wie z.B. Heizkörpern oder Warmluftauslässen, oder an Orten, die direktem Sonnenlicht, starkem Staubniederschlag oder Feuchtigkeit, Vibrationen oder Erschütterungen ausgesetzt sind.
- Um Feuchtigkeitskondensation zu vermeiden, sollte das Gerät nicht an einem Ort installiert werden, der starken Temperaturschwankungen ausgesetzt ist.
- Sorgen Sie bei Deckenmontage für eine einwandfreie Sicherung der Gehäuseabdeckung.

Hinweise zu Installation und Gebrauch

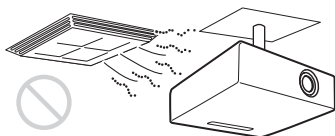
Ungeeignete Installation

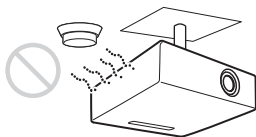
Installieren Sie den Projektor nicht unter den folgenden Bedingungen. **Eine Installation unter den folgenden Bedingungen kann Funktionsstörungen oder Beschädigung** des Geräts zur Folge haben.

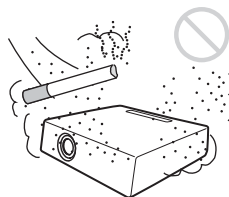
Schlechte Ventilation

- Achten Sie auf ausreichende Luftzufuhr, damit sich im Gerät kein Wärmestau bildet. Stellen Sie das Gerät nicht auf Oberflächen, wie Teppichen oder Decken oder in der Nähe von Materialien wie Gardinen und Wandbehängen auf, welche die Lüftungsöffnungen blockieren könnten.
- Wenn es wegen einer Blockierung zu einem internen Wärmestau kommt, wird der Temperatursensor aktiviert und die Meldung „Zu heiß! Birne aus in 1 Min.“ angezeigt. Der Projektor schaltet sich nach einer Minute automatisch aus.
- Halten Sie einen Abstand von mindestens 30 cm um das Gerät ein.
- Achten Sie darauf, dass keine Partikel, wie Papierschnitzel, durch die Lüftungsöffnungen angesaugt werden.

Hohe Wärme und Feuchtigkeit

- Vermeiden Sie die Installation des Gerätes an einem sehr heißen, kalten oder feuchten Ort.
- Um Feuchtigkeitskondensation zu vermeiden, sollte das Gerät nicht an einem Ort installiert werden, der starken Temperaturschwankungen ausgesetzt ist.

Direkte Einwirkung von kalter oder warmer Luft von einer Klimaanlage

Die Installation an einem solchen Ort kann zu einer Funktionsstörung des Geräts durch Feuchtigkeitskondensation oder Temperaturanstieg führen.

In der Nähe eines Wärme- oder Rauchsensors

Eine Funktionsstörung des Sensors kann verursacht werden.

Sehr staubiger oder extrem rauchiger Ort

Vermeiden Sie die Installation des Geräts in sehr staubiger oder extrem rauchiger Umgebung. Anderenfalls setzt sich der Luftfilter zu, was zu einer Funktionsstörung oder Beschädigung des Geräts führen kann. Ein mit Staub zugesetzter Luftfilter kann einen Anstieg der internen Temperatur des Geräts verursachen. Reinigen Sie den Filter regelmäßig.

Benutzung in Höhenlagen

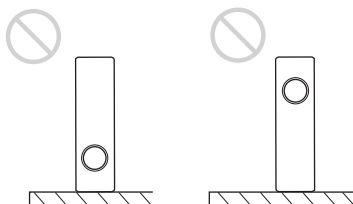
Wenn Sie den Projektor in Höhenlagen über 1.500 m benutzen, aktivieren Sie den „Höhenlagenmodus“ im Menü ANFANGSWERTE. Wird dieser Modus bei Verwendung des Projektors in Höhenlagen nicht aktiviert, kann dies negative Folgen haben, wie z.B. die Verschlechterung der Zuverlässigkeit bestimmter Komponenten.

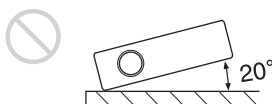
Hinweis zur Leinwand

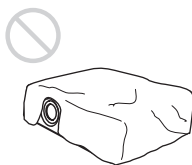
Wenn Sie eine Leinwand mit rauer Oberfläche verwenden, können je nach dem Abstand zwischen der Leinwand und dem Projektor oder der Zoomvergrößerung manchmal Streifenmuster auf der Leinwand erscheinen. Dies ist keine Funktionsstörung des Projektors.

Ungeeignete Bedingungen

Benutzen Sie den Projektor nicht unter den folgenden Bedingungen.

Senkrechtstellung.

Vermeiden Sie den Betrieb in dieser Stellung, weil das Gerät umkippen kann. Es könnte zu einer Funktionsstörung kommen.

Neigen nach rechts/links

Vermeiden Sie den Betrieb des Gerätes bei einer seitlichen Neigung von mehr als 20 Grad. Verwenden Sie außer Tisch- oder Deckeninstallation keine anderen Installationsarten. Es könnte sonst zu einer Funktionsstörung kommen.

Blockierung der Lüftunsöffnungen

Unterlassen Sie das Abdecken der Lüftungsöffnungen (Auslass/Einlass), weil es sonst zu einem internen Wärmestau kommen kann.

Platzierung eines Hindernisses direkt vor dem Objektiv

Stellen Sie keinen Gegenstand, der das Licht während der Projektion blockiert, direkt vor das Objektiv. Die Wärme des Lichts könnte den Gegenstand beschädigen. Drücken Sie die Taste PIC MUTING an der Fernbedienung, um das Bild abzuschalten.

Hinweis

Wenn Sie eine Leinwand mit rauer Oberfläche verwenden, können je nach dem Abstand zwischen der Leinwand und dem Projektor oder der Zoomvergrößerung manchmal Streifenmuster auf der Leinwand erscheinen. Dies ist keine Funktionsstörung des Projektors.

AVVERTENZA

Per evitare il pericolo di incendi o scosse elettriche, non esporre l'apparecchio alla pioggia o all'umidità.

Per evitare il pericolo di scosse elettriche, non aprire l'apparecchio. Rivolgersi esclusivamente a personale qualificato.

QUESTO APPARECCHIO DEVE ESSERE COLLEGATO A MASSA.

ATTENZIONE

Questo apparecchio non è dotato di un interruttore di alimentazione.
Durante l'installazione dell'apparecchio, incorporare un dispositivo di scollegamento prontamente accessibile nel cablaggio fisso, oppure collegare il cavo di alimentazione alla presa di corrente, che dovrà trovarsi nei pressi dell'apparecchio ed essere facilmente accessibile.
Qualora si verifichi un guasto durante il funzionamento dell'apparecchio, azionare il dispositivo di scollegamento in modo che interrompa il flusso di corrente oppure scolleghi il cavo di alimentazione.

ATTENZIONE:

1. Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/connettore per l'apparecchio/ spina con terminali di messa a terra approvati che siano conformi alle normative sulla sicurezza in vigore in ogni paese, se applicabili.
2. Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/connettore per l'apparecchio/ spina confrmi alla rete elettrica (voltaggio, ampere).

In caso di domande relative all'uso del cavo di alimentazione/connettore per l'apparecchio/spina di cui sopra, consultare personale qualificato.

AVVERTIMENTO

Per ragioni di sicurezza, non collegare il connettore per il cablaggio del dispositivo periferico che potrebbe avere una tensione eccessiva in questa porta. Seguire le istruzioni per questa porta.

IMPORTANTE

La targhetta di identificazione è situata sul fondo.

ATTENZIONE
PERICOLO DI ESPLOSIONE SE SI SOSTITUISCE LA PILA CON UNA DI TIPO DIVERSO. SMALTIRE LE PILE USATE SECONDO LE ISTRUZIONI.

Per la sicurezza

Aver cura di montare il filtro dell'aria sul proiettore.

Precauzioni

Avvertimento

Il manuale d'installazione compreso nel CD-ROM è destinato ai rivenditori.
Se l'installazione descritta in questo manuale viene effettuata dai clienti, potrebbe verificarsi un incidente, causando gravi lesioni. Non effettuare mai l'installazione personalmente. Per l'installazione, rivolgersi a un rivenditore Sony.

Sicurezza

- Controllare che la tensione operativa dell'apparecchio sia identica alla tensione dell'alimentazione elettrica locale. Se è necessaria una regolazione di tensione, rivolgersi a personale Sony qualificato.
- Se del liquido o un oggetto solido dovessero penetrare nell'apparecchio, scollegarlo e farlo controllare da personale qualificato Sony prima di farlo funzionare nuovamente.
- Se non si intende utilizzare l'apparecchio per diversi giorni, scollegarlo dalla presa a muro.
- Per scollegare il cavo, tirarlo per la spina. Non tirare mai il cavo.
- La presa di rete deve essere vicina all'apparecchio e facilmente accessibile.
- L'unità non è scollegata dalla fonte di alimentazione c.a. (alimentazione di rete) finché è collegata a una presa a muro, anche se l'unità stessa è stata spenta.
- Non guardare l'obiettivo mentre la lampada è accesa.
- Non mettere la mano o degli oggetti vicino alle prese di ventilazione — l'aria che ne fuoriesce è calda.
- Nel regolare l'altezza del proiettore, prestare attenzione a non pizzicare le dita nel dispositivo di regolazione. Non spingere con forza sulla parte superiore del proiettore quando il dispositivo di regolazione sono estesi.

Illuminazione

- Per ottenere l'immagine migliore, la parte anteriore dello schermo non deve essere esposta all'illuminazione o alla luce solare diretta.
- Si consiglia l'uso di faretti a sospensione sul soffitto. Per evitare di diminuire il rapporto di contrasto, usare un coprilampada sulle lampade fluorescenti.
- Coprire le finestre di fronte allo schermo con tende opache.
- È preferibile installare il proiettore in una stanza in cui il pavimento e le pareti non siano composti da materiali che riflettono la luce. In caso contrario, è consigliabile cambiare tappeti e tappezzeria in modo che siano di colore scuro.

Prevenzione del surriscaldamento interno

- Dopo aver disinserito l'alimentazione con il tasto I / ⏻ sul pannello di controllo o sul telecomando, non scollegare l'unità dalla presa a muro mentre la ventola di raffreddamento è ancora in funzione.
- Non scollegare il cavo di alimentazione c.a. dalla presa a muro mentre la ventola sta ancora girando. (Per rivenditori)

Attenzione

Il proiettore è dotato di prese di ventilazione (aspirazione) sul fondo e di prese di ventilazione (scarico) davanti. Non ostruire tali prese con oggetti, onde evitare il surriscaldamento interno, che potrebbe compromettere la qualità delle immagini o danneggiare il proiettore.

Pulizia

- Per mantenere nuove le parti esterne dell'apparecchio, pulirle periodicamente con un panno morbido. Rimuovere le macchie ostinate con un panno leggermente inumidito con una soluzione detergente leggera. Non usare mai solventi forti come diluente, benzene o detersivi abrasivi, onde evitare di danneggiare le parti esterne.
- Evitare di toccare l'obiettivo. Per rimuovere la polvere dall'obiettivo, usare un panno morbido e asciutto. Non usare panni inumiditi, soluzioni detergenti o diluente.
- Pulire il filtro ad intervalli regolari.

Reimballaggio

- Conservare la scatola e il materiale di imballaggio originale poiché potrebbero servire in caso di spostamento dell'apparecchio. Per ottenere la massima protezione, imballare l'apparecchio nello stesso modo in cui è stato imballato in fabbrica.

Proiettore LCD

- Il proiettore LCD è stato fabbricato impiegando una tecnologia ad alta precisione. Sul proiettore LCD potrebbero tuttavia apparire continuamente dei puntini neri e/o dei puntini luminosi (rossi, blu o verdi). Si tratta del risultato normale del processo di fabbricazione e non indica problemi di funzionamento.

Per rivenditori

Per un'installazione sicura, leggere con attenzione queste normative di sicurezza e il manuale d'installazione compreso nel CD-ROM.

Sicurezza

- Non usare un cavo di prolunga di tensione nominale inferiore che potrebbe causare cortocircuiti e infortuni.
- Per trasportare il proiettore, usare la maniglia apposita. Non afferrare altre parti del proiettore, in particolare l'obiettivo, né pizzicare le dita fra la maniglia, il pavimento e il proiettore.
- Spostando il proiettore installato sul pavimento, non pizzicare le dita fra l'unità e la superficie del pavimento.
- Prestare attenzione a non incastrare le dita nella ventola di raffreddamento.
- Non trasportare il proiettore con il mobile e il coperchio aperto.

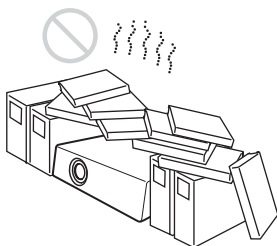
Installazione

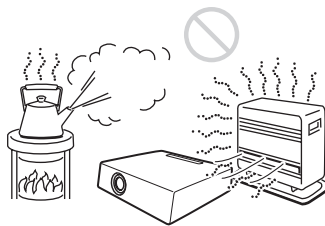
- Quando il proiettore è montato sul soffitto, è necessario utilizzare per l'installazione il supporto di sospensione per proiettori Sony PSS-610.
- Consentire un'adeguata circolazione dell'aria per evitare il surriscaldamento interno. Non mettere l'apparecchio su superfici (tappeti, coperte, ecc.) o vicino a materiali (tende, tendaggi) che potrebbero bloccare le prese di ventilazione. Lasciare uno spazio di oltre 30 cm fra la parete e il proiettore. Considerare che il calore del locale sale verso il soffitto; verificare che la temperatura vicino alla posizione di installazione non sia eccessiva.
- Installare il proiettore sul pavimento o sul soffitto. Qualsiasi altra posizione di installazione causerebbe malfunzionamento, quale irregolarità dei colori o diminuzione della durata della lampada.
- Non installare l'unità in una posizione prossima a sorgenti di calore quali radiatori o condotti di aria, oppure in un luogo esposto alla luce solare diretta, a polvere o umidità eccessiva, vibrazione meccanica o urti.
- Per evitare la formazione di condensa, non installare l'apparecchio in un luogo in cui la temperatura può salire rapidamente.
- Fissare saldamente il coperchio dell'unità per una installazione sul soffitto sicura.

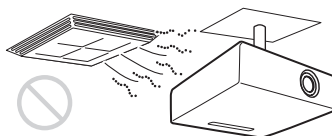
Note sull'uso e sull'installazione

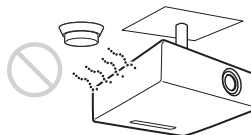
Installazione impropria

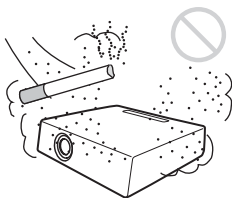
Non installare il proiettore nelle condizioni ambientali che seguono. **Queste installazioni potrebbero causare un malfunzionamento o un guasto** del proiettore.

Ventilazione insufficiente

- Consentire un'adeguata circolazione dell'aria per evitare il surriscaldamento interno. Non mettere l'apparecchio su superfici (tappeti, coperte, ecc.) o vicino a materiali (tende, tendaggi) che potrebbero bloccare le prese di ventilazione.
- Se l'ostruzione causa surriscaldamento interno, si attiva il sensore di temperatura e apparirà il messaggio "Temp. alta! Lamp. off 1 min.". L'alimentazione viene disinserita automaticamente dopo un minuto.
- Lasciare uno spazio di oltre 30 cm intorno all'apparecchio.
- Fare attenzione alle prese di ventilazione che potrebbero aspirare oggetti minuscoli come ad esempio un pezzo di carta.

Calore e umidità eccessivi

- Evitare di installare l'apparecchio in un luogo in cui la temperatura o l'umidità è eccessiva o la temperatura è molto bassa.
- Per evitare la formazione di condensa, non installare l'apparecchio in un luogo in cui la temperatura può salire rapidamente.

Esposto a un flusso diretto di aria fredda o calda da un condizionatore

L'installazione in tale posizione potrebbe causare un malfunzionamento dell'unità a causa di condensazione dell'umidità o aumento della temperatura.

In prossimità di un sensore di calore o di fumo

Il sensore potrebbe non funzionare correttamente.

In presenza di polvere, molto fumo

Non installare l'apparecchio in un ambiente molto polveroso o fumoso. Diversamente il filtro dell'aria potrebbe intasarsi e causare un malfunzionamento o un guasto dell'apparecchio. L'aria potrebbe non passare attraverso il filtro a causa della polvere e provocare un aumento della temperatura interna dell'apparecchio. Pulire il filtro periodicamente.

Uso a quote elevate

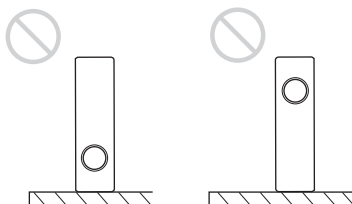
Se il proiettore viene usato a una quota di 1.500 m o superiore, attivare "Modo quota el." nel menu IMPOST. INSTALLAZIONE. Se non viene impostato questo modo, quando il proiettore è usato a quote elevate potrebbero verificarsi effetti negativi, quali la riduzione dell'affidabilità di determinati componenti.

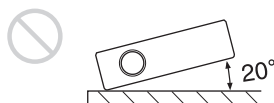
Nota sullo schermo

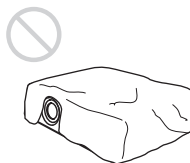
Se si utilizza uno schermo con una superficie non uniforme, talvolta potrebbero apparire sullo schermo delle righe in funzione della distanza fra lo schermo e il proiettore o dell'ingrandimento dello zoom. Non si tratta di un guasto del proiettore.

Condizioni improprie

Non usare il proiettore nelle seguenti condizioni.

Rovesciamento dell'apparecchio.

Evitare l'uso quando l'apparecchio si rovescia sul lato. Ciò può compromettere il corretto funzionamento.

Inclinare a destra/sinistra

Non usare l'unità inclinata più di 20 gradi. Non installare l'unità in posizioni diverse dal pavimento o soffitto. Tali posizioni di installazione potrebbero causare dei problemi.

Bloccaggio delle prese di ventilazione

Evitare di coprire le prese di ventilazione (scarico/aspirazione), altrimenti si può verificare il surriscaldamento interno.

Ostacoli davanti all'obiettivo

Per non oscurare la luce durante la proiezione, non mettere alcun oggetto davanti all'obiettivo. Il calore dovuto alla luce potrebbe danneggiare l'oggetto. Per disattivare l'immagine, usare il tasto PIC MUTING sul telecomando.

Nota

Se si utilizza uno schermo con una superficie non uniforme, talvolta potrebbero apparire sullo schermo delle righe in funzione della distanza fra lo schermo e il proiettore o dell'ingrandimento dello zoom. Non si tratta di un guasto del proiettore.

警告

为避免引发意外的火灾或遭受雷击的危险，请勿将本机置于雨点所及或者潮湿的地方。

不要打开本机机壳，以免遭受电击。除非是本公司指定的合格技术员，否则请勿进行维修。

本机必须接地。

警告

此设备无电源开关。

在安装此设备时，要在固定布线中配置一个易于使用的断电设备，或者将电源线与电气插座连接，此电气插座必须靠近该设备并且易于使用。

在操作设备时如果发生故障，可以切断断电设备的电源以断开设备电源，或者断开电源线。

警告

1 请使用经认可的电源线（3 芯电源线）/ 设备接口 / 插头，其接地接头应符合各国家适用的安全法规。

2 请使用符合特定额定值 （电压、安培）的电源线 （3 芯电源线）/ 设备接口 / 插头。

如果对上述电源线 / 设备接口 / 插口的使用有疑问，请垂询合格维修人员。

重要

设备铭牌位于底部。

警告

如果更换为不当类型的电池，有发生爆炸的危险。

请根据使用说明书的指示处置用过的电池。

为了安全起见

请务必为投影机安装空气滤网。

使用须知

警告

CD-ROM 中所含的安装手册是提供给经销商的。

如果客户进行本手册所述的安装，可能会出现事故，造成严重伤害。绝不允许自己进行安装。安装时，请务必向 Sony 公司的经销商咨询。

安全须知

- 请检查本机的工作电压是否与当地的供电电压一致。如果需要电压适配，请向 Sony 公司的专业技术人员咨询。
- 万一有液体或固体落入机壳内，请拔去本机的电源插头，并请专业 Sony 技术人员检查后再使用。
- 几天不使用本机时，请将本机的电源插头从墙上电源插座拔出。
- 拔电源线时，请手持插头将其拔出。切勿拉扯电线本身。
- 输出插座应安装于设备附近使用方便的地方。
- 本装置与墙上电源插座相连时，并未与交流电源 （主电源）断开，即使装置已关闭也是如此。
- 投影灯点亮时，请勿直视透镜。
- 不得将手或物体放置在通风孔附近－吹出的空气是热的。
- 在调节投影机的高度时，请小心勿使调节器压住您的手指。请勿在调节器伸出时用力按压投影机顶部。

照明须知

- 为获得最佳图像，不可使屏幕正面暴露在直射光线或阳光之下。
- 建议使用吊装聚光灯。请用灯罩遮住萤光灯以免对比度降低。
- 用不透光的帷幕遮住面对屏幕的所有窗户。
- 最好将投影机安装在地板和墙壁都不是反光材料制成的房间内。如果地板和墙壁是反光材料制成的，尽量将地板和壁纸的颜色改为暗色。

防止内部聚热须知

- 在使用控制面板或遥控器上的I/⏻键关闭电源后，如果冷却扇仍然处于运行状态，不得将本装置与墙上电源插座断开。
- 如果冷却扇仍然处于运行状态，不得将交流电源与墙上电源插座断开。（致经销商）

小心

投影机底部装有通风孔 （进气），前部也装有通风孔 （排气）。请勿堵塞或将任何物品放在通风孔旁边，否则可能发生内部聚热，使图像质量下降或投影仪受损。

清洁须知

- 为使机壳外观一往如新，请定期用软布清洁。顽固的污迹可用稍蘸中性洗涤剂的布擦除。切勿使用稀释剂、汽油或抛光剂等强性溶剂，否则会损坏机壳。
- 请勿触摸透镜。请用柔软的干布擦除透镜上的灰尘。请勿使用湿布、洗涤剂或稀释剂。
- 请定期清洁滤网。

重新包装须知

- 请保存原有的包装箱和包装材料，以便在运输设备时可随时使用。为尽量保护好机体，请用出厂时使用的包装箱重新包装本机。

关于液晶显示投影机

- 液晶显示投影机是采用高精密技术制造的。但您可能会在液晶显示投影机上发现有持续的少许小黑点和 （或）小亮点 （红色、蓝色或绿色）。这是制造过程中的正常结果而并非表明出现了故障。

致经销商

请仔细阅读 CD-ROM 中的本安全规则和安装手册，以便安全安装。

安全须知

- 避免使用带低压限制的延长线，否则可能造成短路和人身事故。
- 要搬运投影机，务必使用搬运把手。不要握持投影机的其他部分，尤其是透镜，也不要将手指卡入把手、地板和投影机之间。
- 在移动安装于地板上的投影机时，不要将手指卡入装置和地面之间。
- 小心避免将手指卡入冷却扇中。
- 投影机箱打开和箱盖打开时，不得搬运投影机。

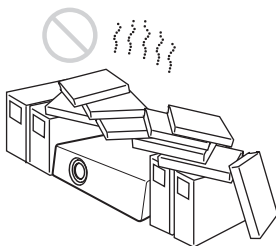
关于安装

- 将投影机安装在天花板上时，必须使用 Sony PSS-610 投影机悬挂支撑。
- 保证通风良好以免内部热量聚积。请勿将本机放置在可能堵塞通风孔的（地毯、毛毯等）表面或（窗帘、帷幕等）物品附近。在墙和投影机之间留出 30 cm 以上的空间。房间热度升至天花板时应加以注意；检查安装位置附近的温度是否过高。
- 将投影机安装在地板上或天花板上。安装在其他位置会造成故障，如颜色不规则或缩短投影灯寿命。
- 不得将本装置安装在靠近电暖炉或排气管等热源的位置，也不得放置于易受阳光直射、灰尘过多、潮湿、机械振动或冲击的位置。
- 为避免湿气凝结，请勿将本机安装在温度可能迅速升高之处。
- 当安装至天花板时，务必牢牢固定箱盖。

有关安装和使用的注意事项

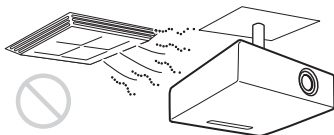
不当安装

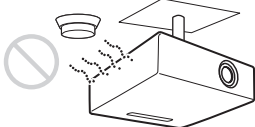
请勿将投影机安装在下列场所。**否则可能导致故障或损坏**投影机。

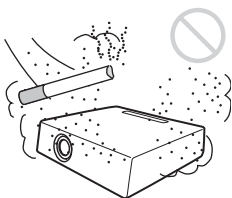
通风不良

- 保证通风良好以免内部热量聚积。请勿将本机放置在可能堵塞通风孔的（地毯、毛毯等）表面或（窗帘、帷幕等）物品附近。
- 当由于障碍物堵塞通风孔而造成内部热量聚积时，温度传感器将会工作并显示“操作温度过高！将在 1 分钟之后关灯。”信息。电源将在 1 分钟之后自动关闭。
- 在本机四周留出 30 cm 以上的空间。
- 小心通风孔可能会吸入微小物体，例如纸屑等。

高热和潮湿环境

- 勿将本机安装在温度或湿度极高，或温度极低之处。
- 为避免湿气凝结，请勿将本机安装在温度可能迅速升高之处。

受空调的冷暖风直接吹拂的地方

在这样的场所安装可能会由于湿气凝结或温度升高而导致本机故障。

温度或烟雾传感器附近

可能会引起传感器的误动作。

多尘、多烟雾的地方

勿将本机安装在多尘或多烟雾的环境中。否则，空气滤网会被堵塞，并可能导致本机故障或损坏。灰尘会阻挡空气透过滤网，从而可能导致投影机内部温度升高。请定期清洁空气滤网。

在高海拔地区使用

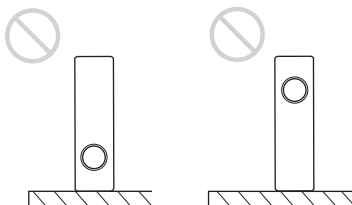
当在海拔 1,500 m 或更高的地区使用投影机时，请打开安装设定菜单中的 "高海拔高度模式"。当在高海拔高度处使用投影仪而不设定此模式的话，会产生不良影响，如出现某些组件可靠性降低的现象。

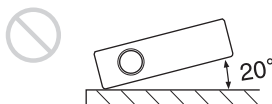
关于屏幕的注意事项

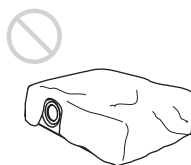
当使用表面不平整的屏幕时，根据屏幕与投影机之间的距离或变焦放大倍数的不同，偶尔可能会在屏幕上出现条纹图案。这并非投影机的故障。

不适环境

请勿在下列情况下使用投影机。

倾倒本机

勿将本机在倒至一边的情况下使用。否则可能引起故障。

向右 / 向左倾斜

当本机倾斜超过 20 度时，请勿使用。请勿将本机安装在地板或天花板以外之处。这些安装方式可能会导致发生故障。

堵塞通风孔

勿用物品盖住通风孔 （排气 / 进气）；否则，内部热量会聚积。

在镜头面前放置遮挡物品

请勿在投影期间在镜头面前放置可能会遮挡光线的物品。 来自光线的热量可能会造成物品损坏。 按遥控器上的 PIC MUTING 键消除图像。

注

当使用表面不平整的屏幕时，根据屏幕与投影机之间的距离或变焦放大倍数的不同，偶尔可能会在屏幕上出现条纹图案。这并非投影机的故障。